

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	財務会計システム更新事業			会計	款	項	目	大	小
				01	02	01	05	01	51
政策	06	公・民バ・トナ・シップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	財政調整課				
施策	6-2	健全で効率的な行政運営		主管課長	安井 彰				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	財務事務に係る経費	意図	財務事務を効率的に執行する。
事業内容	財務会計システムを活用し、財務事務を効率的、効果的に事務が行えるようにする。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計システムの更新時、事務管理経費に含まれていた当該経費を分割した。 ・当該システムにより、予算編成事務や伝票事務の省力化を図った。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成25年10月1日に財務会計システムを更新し、現在に至っている。平成25年度は、6か月分の使用料等、平成26年度は、1年分の使用料等となっているため、事業費の増となっている。			
事務事業の総コスト(a=b+c)		31,861,710	34,234,688				
事業費(b)(円)		3,584,910	6,268,824				
うち一般財源		3,584,910	6,268,824				
職員給与費(c)(円)		28,276,800	27,965,864				
人役・職員(人)		4.00	4.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.30	0.30				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	新システムを利用して、非効率な点等があれば、適宜、修正可能な部分に変更をする。	取り組みの課題	今後、各課の要望や効率性等を踏まえて、システム内容を検討していく。
今年度(H26)に実施した取り組み	予算書の作成に係る内容について、一部システム内容を変更し、事務の効率化を図った。	今後の改善計画	予算編成や執行等での事務の効率性等を検討していく。